

# さいたま市人事評価制度 検討はじまる

## さいたま市教組情宣

さいたま市  
教職員組合  
(埼教組)  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
e-mail  
saitama@kyouik  
u-net.org  
2005.2.25(金)  
No.81



教員の評価に  
関する研究協  
議会の中間報  
告(素案)提  
示される

さいたま市教委は、現在、「教員の評価に関する研究協議会」(以下「協議会」)を立ち上げ、教員の評価に関する諮問を求めています。財界から二名、マスコミから一名、教職経験者一名、大学から一名、市教委から二名で構成されています。今年度中に中間報告を、来年度中には本報告を諮問することになっています。すでに九月二十九日、一月一日、一月二十六日と

会議が開かれています。その三回目の会議に「教員の評価に関する研究協議会の中間報告(素案)」が、提案されました。この文書は多くの問題を含んでいます。紙面の都合上二点についてだけ、指摘をしておきます。

「汗を流し努力し工夫した人」を「評価」する  
中間報告素案

「中間報告(素案)」のなかの「新たな人事評価制度の方向性、概要について」・「基本的考え方」の「イ」の文言には驚くと同時に怒りを感じ

ました。「学校の中で、児童・生徒のため汗を流し努力し工夫した人や、具体的な実績・成果をあげた人を評価できるような人事評価制度の導入を進める」とあったのです。市教委は「児童・生徒のため汗を流し努力し工夫しない人」がいるという認識なのです。学校現場は集団で教育活動に取り組んでいます。そういった意味ではみんなが子どもたちのために「汗を流して」いるのです。また「実績・成果をあげた人」というのは何でしょうか。教育活動に「実績」などというものがあつたのでしょうか。もしあつたとしても教育活動の「実績」というのは、多くの教職員との共同によって生み出されるものであつて、純粹に「個人の実績」といえるものなどないと思います。

「給与、人事への活用」にも言及  
中間報告素案

中間報告素案は、条件付きとはいえ「給与、人事への活用」についても言及しています。「評価結果の活用」の部分にこ書かれています。「人事評価の結果を適材適所の人材配置、適正な昇進管理と処遇に活用することを検討する必要がある。ただし、給与、人事への活用については、公平、客観性の確保と被評価者が納得できるものであることが条件となる。」要するに「汗を流し努力し工夫した人」「実績・成果をあげた人」への「評価」とは、結局はお金と人事だつたのです。

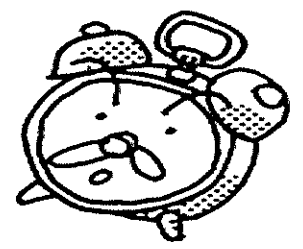
学校はますます荒れる?!

中間報告素案は、「基本的な考え方」の最初で次のように述べています。「教員一人ひとりの資質・能力の伸張とともに、学校全体の教育力の一層の向上を図ることにより、子どもたちの健全な成長を図る観点からの人事評価システムとする」。教職員個人の評価の結果が最終的にお金と人事に収束していく人事評価システムが、「学校全体の教育力の一層の向上」に結

びつくだいしょうか。「お金と人事」のために競争させられるというところは一人ひとりがバラバラにさせられるということとです。バラバラになつた教職員がつくる学校が教育力を向上させるはずがありません。したがつて「子どもたちの健全な成長」が図れるわけがありません。学校はますます荒れていくことが予想されます。

「国の礎となる人材の育成が教育の目的」?

三回目の会議で気になった発言がありました。ある委員が何回も教育の目的は「国の礎となる人材の育成」であり、人事評価はそのために行うのだというのです。私たち教職員は「国の礎となる人材」を育てようとして教育を行っているわけではありませぬ。ひとりひとりの子どものためのその子らしい人間の成長のために働いているのです。極端に言えば「国家」のために子どもたちを育てようとは思わないし、子どもたちを「国家」のための人材」とは考えていません。具体的なひとりひとりの子どもたちがその子の発達課題にそつて成長していくことを願つて教育活動を行っているので



す。これが教育基本法の「人格の完成」をめざすという立場です。私たちは「憲法」「教育基本法」に宣誓して公務員として働いているわけですから、当然教育の目的は「人格の完成」なのです。そういった意味では、教育基本法からはずれる意見が出て、市教委からは何も反論がされないというところはおかしなことです。市教委が何も言わなかつたからでしょうか、ある委員が「教育の目的は、人格の完成にある」という意見もありましたので「と釘をさしたのには当然だつたと思います。」

\* \* \* \* \*

市教委は、「協議会」だけでなく、「様々な意見をきいて人事評価制度を整えていく」と明言しています。「協議会」の話し合いを注視すると同時に、私たちの意見をどうしどし市教委に寄せましょ